



進撃続ける脇本雄

第16回「サマーナイトフェスティバル」が今年はいわき平競輪場で7月10日から3日間の日程で開催される。S班9選手をはじめ、輪界のスターが一堂に集結する注目のビッグレース。グレードはG2だが、ハイレベルなシリーズになることは間違いない。また、ガールズのトップ選手による「ガールズケイリンフェスティバル」(展望は裏面に掲載)も併せて開催される見どころの多いシリーズだ。

脇本雄は6カ月のブランクを感じさせない走りでも完全優勝を飾った脇本雄太が不動の本命だ。脇本の初日は雨でスリッパしたこともあり、巻き返しに時間がかかったが、残り3日間には逃げ切り3連発の圧勝劇。打鐘から1周半の仕掛けなら、



今の脇本には負ける要素が見当たらない。今回はS班の村上博幸に村上義弘、脇本決勝でも連係した稲川翔、稲垣裕之ら近畿の援軍は豊富。脇本の存在は頼もしいが、村上博幸にとつてはどうやって脇本をとらえるかがビッグ制覇の鍵となる。

脇本は、新田不在の競輪界を席巻していったのは松浦悠士、清水裕友の中国コンビだ。グランプリこそまくり不発に終わったが、昨年11月の競輪祭から2月全日本選抜、3月ウィナーズカップと、ビッグレースをこの2人で立て続けに制している。脇本は松浦がホームから巻き返して脇本に迫ったが3着まで。今回はしっかりと清水も勝ち上がって、脇本、新田と勝負したい。地区内あっせんならともかく、ビッグレースでは中国、四国がライン。原田研太郎、岩津裕介らで総力を結集して序盤の流れを引き戻したい。

高い個の能力を持つ平原康多、郡司浩平の存在も忘れてはならない。平原は5月宇都宮記念の落車があったが、全プロ記

だ。そこで心強いのが一番車、佐藤慎太郎の存在だ。狙った位置からレースを組み立てられるのは圧倒的に有利。好位から仕掛けて、今度こそ脇本を飲み込むか。1月当所記念を制した山崎芳仁に和田圭や大槻寛徳。自力では菅田孝道や新山響平もいる。北日本勢が1車でも長いラインを作れるかどうかとも勝負の明暗を分けそう。

脇本、新田不在の競輪界を席巻していったのは松浦悠士、清水裕友の中国コンビだ。グランプリこそまくり不発に終わったが、昨年11月の競輪祭から2月全日本選抜、3月ウィナーズカップと、ビッグレースをこの2人で立て続けに制している。脇本は松浦がホームから巻き返して脇本に迫ったが3着まで。今回はしっかりと清水も勝ち上がって、脇本、新田と勝負したい。地区内あっせんならともかく、ビッグレースでは中国、四国がライン。原田研太郎、岩津裕介らで総力を結集して序盤の流れを引き戻したい。



今年早くも記念3Vと浅井康太は完全復活を遂げた。中部勢は他地区に比べて参加メンバーは少数だが、深谷知広に吉田敏洋、柴崎淳と実力者はそろっている。深谷が持ち前のパワーを発揮なら、少数でも侮れない勢力となる。九州勢では中川誠一郎、山田英明が意地の一発を見せる。

5月があっせん停止だった郡司は、復帰戦となった脇杯で2勝を挙げた。この1カ月は後半戦に向けた貴重な準備期間になったはずだし、脇杯、取手記念を走ったことでレースでの感覚もつかめたはず。昨年度大会準優勝の渡邊雄太に、キメ脚鋭い和田健太郎も優勝争いに加わる力がある。

今年早くも記念3Vと浅井康太は完全復活を遂げた。中部勢は他地区に比べて参加メンバーは少数だが、深谷知広に吉田敏洋、柴崎淳と実力者はそろっている。深谷が持ち前のパワーを発揮なら、少数でも侮れない勢力となる。九州勢では中川誠一郎、山田英明が意地の一発を見せる。

主カメンバー ※2020年6月29日現在

氏名	登録地	期別	競走得点	直近12場所成績	総合評価
浅井康太	三重	36	117.92	92 [8]	2288万
清水裕友	山口	25	116.10	93 [5]	4883万
村上博幸	京都	41	114.11	91 [9]	1632万
中川誠一郎	熊本	41	113.05	89 [10]	1512万
松浦悠士	広島	29	118.66	95 [4]	6387万
新田祐大	福島	34	120.50	95 [3]	489万
脇本雄太	福井	31	127.00	95 [2]	3112万

サマーナイトフェスティバル 出場予定選手

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78	117.33	S1	佐藤友和	岩手	88	110.05	S1	阿部力也	宮城	100	106.08
	中川誠一郎	熊本	85	113.05		山崎芳仁	福島	88	109.73		櫻井正孝	宮城	100	105.83
	村上博幸	京都	86	114.11		福田知也	神奈川	88	106.00		吉澤純平	茨城	101	111.86
	平原康多	埼玉	87	118.42		南修二	大阪	88	113.05		三谷竜生	奈良	101	109.27
	新田祐大	福島	90	120.50		大塚玲	神奈川	89	105.40		山本伸一	京都	101	112.79
	脇本雄太	福井	94	127.00		内藤秀久	神奈川	89	112.00		杉森輝大	茨城	103	109.45
	松浦悠士	広島	98	118.66		松坂洋平	神奈川	89	110.46		野原雅也	福井	103	112.18
	郡司浩平	神奈川	99	120.00		山田英明	佐賀	89	112.23		渡邊雄太	静岡	105	112.70
	清水裕友	山口	105	116.10		浅井康太	三重	90	117.92		新山響平	青森	107	112.36
S1	澤田義和	兵庫	69	104.32		稲川翔	大阪	90	114.89		鈴木竜士	東京	107	112.18
	室井健一	徳島	69	107.13		阿竹智史	徳島	90	112.45		山岸佳太	茨城	107	107.00
	志智俊夫	岐阜	70	108.14		坂本亮馬	福岡	90	105.38		吉田拓矢	茨城	107	112.68
	村上義弘	京都	73	110.75		永澤剛	青森	91	109.33		取島雄吾	岡山	107	109.56
	伏見俊昭	福島	75	107.32		菅田孝道	宮城	91	111.14		小川真太郎	徳島	107	109.85
	小林大介	群馬	79	107.32		柴崎淳	三重	91	111.10		太田竜馬	徳島	109	107.83
	諸橋愛	新潟	79	115.63		和田圭	宮城	92	113.21		佐々木豪	愛媛	109	108.90
	佐々木雄一	福島	83	111.00		鈴木裕	千葉	92	110.21		松本貴治	愛媛	111	106.78
	渡部哲男	愛媛	84	110.48		伊藤信	大阪	92	106.43		小林泰正	群馬	113	103.33
	大槻寛徳	宮城	85	112.67		岩本俊介	千葉	94	112.19		森田優弥	埼玉	113	107.73
	吉田敏洋	愛知	85	112.10		松川高大	熊本	94	107.88		松井宏佑	神奈川	113	111.86
	海老根恵太	千葉	86	103.55		芦澤辰弘	茨城	95	110.41		宮本隼輔	山口	113	107.11
	岡村潤	静岡	86	109.52		河端明之	岡山	95	110.60		S2 庄子信弘	宮城	84	108.67
	稲垣裕之	京都	86	110.91		守澤太志	秋田	96	113.50		高橋晋也	福島	115	110.42
	坂本健太郎	福岡	86	109.13		松谷秀幸	神奈川	96	111.10		坂井洋	栃木	115	108.91
	和田健太郎	千葉	87	115.32		深谷知広	愛知	96	113.09		寺崎浩平	福井	117	106.30
	松岡健介	兵庫	87	110.44		稲毛健太	和歌山	97	107.96					
	岩津裕介	岡山	87	113.47		原田研太郎	徳島	98	111.83					
	園田匠	福岡	87	111.13		小松崎大地	福島	99	111.00					

※2020年6月29日現在のデータです。